



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 十六銀行
コード番号 8356 URL <http://www.juroku.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 堀江 博海

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 名知 清仁

TEL 058-265-2111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	31,219	5.2	3,562	△22.2	3,373	40.0
23年3月期第1四半期	29,674	3.8	4,577	56.2	2,410	30.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 8,000百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △3,466百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.03	6.85
23年3月期第1四半期	6.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,366,081	265,066	4.0
23年3月期	5,309,912	259,579	3.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 214,215百万円 23年3月期 207,944百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,500	7.4	8,500	△1.8	5,700	25.7	15.25
通期	119,000	3.8	13,500	△22.6	8,000	△13.9	21.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	379,241,348 株	23年3月期	379,241,348 株
24年3月期1Q	5,465,896 株	23年3月期	5,465,476 株
24年3月期1Q	373,775,217 株	23年3月期1Q	364,007,987 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 企業結合等関係に関する注記	7
4. 補足情報	8
(1) 損益状況【単体】	8
(2) 「金融再生法ベースのカテゴリによる開示」 【単体】【十六銀行(岐阜銀行統合ベース)】	9
(3) 時価のある有価証券の評価差額【単体】	10
(4) 預金、貸出金の残高【単体】【十六銀行(岐阜銀行統合ベース)】	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災に伴う部品供給網の寸断、電力供給不足、さらには放射能汚染の問題から、大幅な減産と自粛ムードによる個人消費の低迷を余儀なくされましたが、部品供給網の復旧につれ、生産は回復しつつあります。

当行の主要な営業基盤である岐阜・愛知両県におきましても、自動車関連での大幅な減産に加え、浜岡原発の停止による安定的な電力供給への不安に見舞われましたが、生産は急速に回復に向かっています。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、国債等債券売却益が減少した一方、前第3四半期連結会計期間末から連結範囲に含めた株式会社岐阜銀行(以下、「岐阜銀行」という。)の経常収益が寄与したことなどから、前年同期比15億45百万円増加し312億19百万円となりました。経常費用は、岐阜銀行を連結範囲に含めた影響に加え、株式等償却が増加したことなどから、前年同期比25億60百万円増加し276億57百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比10億15百万円減少し35億62百万円となりましたものの、四半期純利益は負ののれん発生益の計上により特別利益が増加したことなどから、前年同期比9億63百万円増加し33億73百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金につきましては、低コストかつ長期安定的な資金を調達するとの観点から、地域に密着した積極的な営業展開を行い、個人、法人を中心に増強をはかりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の預金残高は、前連結会計年度末比817億93百万円増加し4兆8,313億80百万円となりました。

貸出金につきましては、地元企業の資金需要や住宅ローンを中心とする個人向け融資に積極的にお応えするとともに、地方公共団体向けの融資取扱いに努めました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の貸出金残高は、前連結会計年度末比414億41百万円減少し3兆5,228億4百万円となりました。

有価証券につきましては、国債、地方債等の引受、購入のほか、相場環境を注視しつつ、資金の効率的運用のための債券等の売買を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の有価証券残高は、前連結会計年度末比501億45百万円増加し1兆3,506億88百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
現金預け金	187,948	223,797
コールローン及び買入手形	56,663	79,260
商品有価証券	1,973	1,622
金銭の信託	10,620	10,621
有価証券	1,300,543	1,350,688
貸出金	3,564,245	3,522,804
外国為替	7,179	4,104
リース債権及びリース投資資産	41,303	41,021
その他資産	62,507	60,431
有形固定資産	69,056	68,500
無形固定資産	11,398	10,799
繰延税金資産	15,625	12,975
支払承諾見返	32,419	31,174
貸倒引当金	△51,572	△51,721
資産の部合計	5,309,912	5,366,081
負債の部		
預金	4,749,587	4,831,380
譲渡性預金	6,346	15,653
債券貸借取引受入担保金	70,890	31,655
借入金	71,717	71,702
外国為替	485	692
社債	30,000	30,000
その他負債	65,062	66,183
賞与引当金	1,789	108
役員賞与引当金	70	—
退職給付引当金	9,709	9,971
役員退職慰労引当金	352	360
睡眠預金払戻損失引当金	325	282
偶発損失引当金	1,523	1,517
繰延税金負債	9	292
再評価に係る繰延税金負債	10,042	10,041
支払承諾	32,419	31,174
負債の部合計	5,050,333	5,101,015

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
資本金	36,839	36,839
資本剰余金	27,824	27,823
利益剰余金	118,815	120,883
自己株式	△1,529	△1,527
株主資本合計	181,950	184,017
その他有価証券評価差額金	13,444	17,649
土地再評価差額金	12,549	12,548
その他の包括利益累計額合計	25,993	30,197
少数株主持分	51,635	50,850
純資産の部合計	259,579	265,066
負債及び純資産の部合計	5,309,912	5,366,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
経常収益	29,674	31,219
資金運用収益	17,377	19,909
(うち貸出金利息)	13,541	14,973
(うち有価証券利息配当金)	3,763	4,835
役務取引等収益	3,586	3,880
その他業務収益	7,017	6,185
その他経常収益	1,692	1,244
経常費用	25,097	27,657
資金調達費用	2,107	2,239
(うち預金利息)	1,720	1,837
役務取引等費用	1,151	1,440
その他業務費用	4,984	4,774
営業経費	13,697	16,429
その他経常費用	3,155	2,772
経常利益	4,577	3,562
特別利益	0	1,061
負ののれん発生益	—	1,061
償却債権取立益	0	—
特別損失	275	75
固定資産処分損	30	7
減損損失	147	67
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	97	—
税金等調整前四半期純利益	4,301	4,548
法人税、住民税及び事業税	301	433
法人税等調整額	1,318	300
法人税等合計	1,619	733
少数株主損益調整前四半期純利益	2,682	3,815
少数株主利益	271	441
四半期純利益	2,410	3,373

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,682	3,815
その他の包括利益	△6,149	4,185
その他有価証券評価差額金	△6,149	4,185
四半期包括利益	△3,466	8,000
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,689	7,579
少数株主に係る四半期包括利益	222	420

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 企業結合等関係に関する注記

共通支配下の取引等

子会社（十六キャピタル株式会社）株式の追加取得

1 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	十六キャピタル株式会社
事業の内容	投融資業

(2) 企業結合日

平成 23 年 4 月 26 日および平成 23 年 4 月 28 日

(3) 企業結合の法的形式

少数株主からの株式買取

(4) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

資本構成見直しによるガバナンスの強化を目的に、少数株主が保有する株式を買取したものであります。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第 21 号平成 20 年 12 月 26 日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 10 号平成 20 年 12 月 26 日）に基づき、少数株主との取引として処理しております。

3 子会社株式の追加取得に関する事項

(1) 取得原価及びその内訳

取得の対価	現金預け金	38 百万円
取得原価		38 百万円

(2) 発生した負ののれん発生益の金額及び発生原因

① 発生した負ののれん発生益の金額

1,061 百万円

② 発生原因

少数株主から取得した子会社株式の取得原価が少数株主持分の減少額を下回ったことによるものであります。

4. 補足情報

当行の平成24年3月期第1四半期の概要について、下記のとおりお知らせします。

なお、当行は、平成24年9月に子会社の株式会社岐阜銀行（以下「岐阜銀行」という。）との合併を予定しておりますことから、以下の一部計数においては当行【単体】計数の他に、当行と岐阜銀行の合併を前提とした計数【十六銀行（岐阜銀行統合ベース）】を記載しております。

また、当第1四半期末の自己資本比率（国内基準）については、現在算出中であり、確定次第、開示する予定であります。

(1) 損益状況【単体】

平成24年3月期第1四半期の業績につきましては、コア業務純益は4,107百万円（第2四半期累計期間業績予想値8,200百万円の50%）となり概ね業績予想のとおり順調に推移したものの、株式等償却の計上を主因として経常利益は2,122百万円（第2四半期累計期間業績予想値7,500百万円の28%）、四半期純利益は1,456百万円（第2四半期累計期間業績予想値4,700百万円の31%）となりました。しかしながら、平成24年3月期第2四半期会計期間においては株式等売却益の発生により株式等関係損益の改善を見込みますことから、平成24年3月期第2四半期累計期間の業績につきましては、概ね業績予想どおりの損益を見込みます。

(単位：百万円)

[]内は第2四半期累計期間の業績予想値	平成23年3月期 第1四半期 (A)	平成24年3月期 第1四半期 (B)	増 減 (B-A)	平成23年3月期 実績(12ヵ月)
経常収益 [41,500 百万円]	23,168	21,641	△ 1,527	85,189
業務粗利益	18,238	17,585	△ 653	67,338
資金利益	15,229	15,334	105	59,020
役員取引等利益	1,623	1,486	△ 137	6,821
その他業務利益 (うち国債等債券損益(5勘定戻))	1,385 (1,134)	764 (525)	△ 621 (△ 609)	1,495 (361)
経費	12,498	12,952	454	49,376
一般貸倒引当金繰入額 ①	△ 271	150	421	△ 2,478
業務純益 [10,300 百万円]	6,011	4,482	△ 1,529	20,439
コア業務純益 (注) [8,200 百万円]	4,605	4,107	△ 498	17,600
臨時損益	△ 1,955	△ 2,357	△ 402	△ 5,622
不良債権処理額 ②	2,628	1,096	△ 1,532	3,841
貸倒引当金戻入益 ③		—		
償却債権取立益 ④		0		
株式等関係損益	96	△ 1,811	△ 1,907	△ 1,190
その他臨時損益	577	549	△ 28	△ 590
経常利益 [7,500 百万円]	4,053	2,122	△ 1,931	14,806
特別損益	△ 275	△ 74	201	△ 807
うち減損損失	147	67	△ 80	614
うち資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	97	—	△ 97	97
税引前四半期(当期)純利益	3,777	2,047	△ 1,730	13,999
四半期(当期)純利益 [4,700 百万円]	2,387	1,456	△ 931	9,262
与信関係費用 (①+②-③-④)	2,357	1,246	△ 1,111	1,362

(注) コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益（5勘定戻）

(2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

【単体】

金融再生法ベースの開示債権は、22年6月末比6,214百万円増加し122,595百万円となりました。また、総与信に占める割合は、22年6月末比0.16ポイント上昇し3.89%となりました。

(単位：百万円)

	22年6月末	23年6月末	23年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	23,683	20,951	21,647
危険債権	83,020	86,053	82,847
要管理債権	9,677	15,590	11,870
合計	116,381	122,595	116,366
総与信に占める割合	3.73%	3.89%	3.66%

(注) 1. 平成23年6月末の計数は、6月末基準の自己査定結果に基づき、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

2. 当行は、部分直接償却を実施しておりません。

なお、部分直接償却を実施したと仮定した場合の金融再生法ベースの開示債権は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	22年6月末	23年6月末	23年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,486	8,077	8,685
危険債権	83,020	86,053	82,847
要管理債権	9,677	15,590	11,870
合計	102,184	109,721	103,404
総与信に占める割合	3.29%	3.49%	3.27%

【十六銀行(岐阜銀行統合ベース)】

岐阜銀行統合ベースの金融再生法ベースの開示債権は、141,929百万円、総与信に占める割合は、3.92%となりました。

(単位：百万円)

	23年6月末	23年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	23,385	24,534
危険債権	101,015	97,073
要管理債権	17,528	13,690
合計	141,929	135,298
総与信に占める割合	3.92%	3.69%

(注) 「岐阜銀行統合ベース」は、当行と岐阜銀行の合算計数であります。

なお、岐阜銀行の計数はパーチェス法による時価評価後のものを用いております。

(3) 時価のある有価証券の評価差額【単体】

その他有価証券の評価差額は、22年6月末比3,785百万円増加し27,667百万円となりました。

(単位：百万円)

	22年6月末				23年6月末				23年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	976,537	23,882	40,110	16,227	1,107,433	27,667	39,188	11,520	1,048,269	22,371	35,788	13,417
株式	96,390	13,639	21,517	7,878	89,106	16,499	21,860	5,360	91,452	16,811	23,239	6,428
債券	771,032	16,527	16,801	274	900,285	15,130	15,636	505	851,443	10,356	11,532	1,175
その他	109,114	△ 6,283	1,791	8,074	118,041	△ 3,962	1,691	5,654	105,373	△ 4,797	1,016	5,813

(注) 1. 「評価差額」は、期末時点の取得原価（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は下記のとおりであります。

(単位：百万円)

	22年6月末				23年6月末				23年3月末			
	帳簿価額	評価差額			帳簿価額	評価差額			帳簿価額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	51,546	96	464	367	48,346	166	427	261	49,196	81	391	310
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 預金、貸出金の残高

【単体】

預金は、22年6月末比162,318百万円増加し4,153,917百万円となりました。
貸出金は、22年6月末比40,783百万円増加し3,074,638百万円となりました。

(単位：百万円)

	22年6月末	23年6月末	23年3月末
預金(未残)	3,991,599	4,153,917	4,069,447
うち個人預金	2,728,857	2,803,812	2,735,324
貸出金(未残)	3,033,855	3,074,638	3,096,245
うち消費者ローン	857,942	915,897	907,776

(ご参考) 個人預り資産残高(単体)

(単位：百万円)

	22年6月末	23年6月末	23年3月末
預金	2,728,857	2,803,812	2,735,324
投資信託	109,590	117,364	117,642
公共債	198,311	169,766	176,298
個人年金保険等	221,922	258,814	250,968
合計	3,258,683	3,349,759	3,280,233

【十六銀行(岐阜銀行統合ベース)】

岐阜銀行統合ベースの預金は、4,847,060百万円となりました。
岐阜銀行統合ベースの貸出金は、3,539,979百万円となりました。

(単位：百万円)

	23年6月末	23年3月末
預金(未残)	4,847,060	4,765,598
うち個人預金	3,390,153	3,326,549
貸出金(未残)	3,539,979	3,580,750
うち消費者ローン	1,110,612	1,103,659

(注) 「岐阜銀行統合ベース」は、当行と岐阜銀行の合算計数であります。

なお、岐阜銀行の計数はパーチェス法による時価評価後のものを用いております。

(ご参考) 個人預り資産残高(十六銀行(岐阜銀行統合ベース))

(単位：百万円)

	23年6月末	23年3月末
預金	3,390,153	3,326,549
投資信託	154,724	156,072
公共債	172,967	179,686
個人年金保険等	274,542	266,265
合計	3,992,387	3,928,574